

## はじめに



インフラ長寿命化センター長  
松田 浩

平成 24 年に発生した笹子トンネル天井板の落下による凄惨な事故以降、我が国のインフラ老朽化対策については、国土交通省が平成 25 年をメンテナンス元年と位置づけ、11 月にインフラ老朽化対策の推進に関する関係省庁連絡会議でインフラ長寿命化基本計画が閣議決定され、また、平成 26 年 4 月 14 日には国土交通省の有識者部会より道路の老朽化対策の本格実施、いわゆる「最後の警告」が提言されました。さらには、その 1 週間後に総務省からインフラ全般の管理計画について策定要請が出されるなど、今まさに施策面で大きく動いています。

インフラ長寿命化センターが設立されてすでに 8 年が経過しました。平成 20 年度からの道守養成講座も 7 年間継続してきたこととなります。特定道守コースの特別講演会では、山梨大学の後藤聡先生に「家族を守る斜面の知識 -あなたの家は大丈夫？」のテーマでご講演していただきました。また、平成 27 年 1 月 23 日に、「地方の道をいかに守っていくか」をテーマに、道守講演会を文教スカイホールで開催しました。岐阜大学の村上茂之先生に「メンテナンス時代の人材育成について」、東京大学の長井宏平先生に「市町村の橋梁維持管理の実態と今後のあり方」という演題での講演をお願いし、約 110 人の参加者がありました。

今年度は、文部科学省「成長分野等における中核的専門人材養成等の戦略的推進」事業により、5 大学コンソーシアムでコアカリキュラムの策定にとりかかりました。その途中の平成 26 年 8 月に、社会資本メンテナンスの確立に向けて、「民間資格の登録制度の創設」の緊急提言が出され、11 月に「公共工事に関する調査及び設計等の品質確保に資する技術者資格登録規定」が告示され、12 月から公募が開始されました。

長崎大学の「道守」も、橋梁（鋼・コンクリート）の点検・診断、トンネルの点検に応募し、今年の 1 月末に、登録資格の一つとして認定されました。土木学会の上級土木技術者やシビルコンサルティングマネージャー（RCCM）など中央団体の資格が登録される中、地方団体の資格として唯一の登録となりました。

登録資格に認定されましたので、今後 5 年間、道守養成講座を継続していく必要があります。長崎県や市町、建設業協会、測量設計コンサルタンツ協会、そして長崎県建設技術研究センターとの連携が、ますます必要となります。また、国土交通大臣認定の登録資格ですので、長崎河川国道事務所などの国家機関との連携も深めていく必要があります。

また、今年は新たな試みとして、長崎市と「社会資本維持管理に関する覚書」を締結し、長崎市土木職の職員に対して、初級・中級インフラ研修を実施しました。さらに、JICA の支援により、ラオスの技術者 7 人を受け入れ、道路維持管理能力強化プロジェクトを行いました。

道守関連のプロジェクトとしては、広島大学オンサイトプロジェクト（平成 26 年 11 月 14 日）と、長崎県建設技術フェア（平成 26 年 10 月 6～7 日）への出展、シンポジウムとしては、市民シンポジウム in 長崎（平成 26 年 11 月 15 日）を実施しました。

さらに、研究活動としては、諫早市の公共施設等総合管理基本計画策定業務、端島（軍艦島）遺構状況記録調査業務、さらには国土交通省の建設技術開発研究助成制度に「光学計測法を用いた効率的・低コストな新しい橋梁点検手法の開発」が採択され、その研究を実施しています。

このように、道守講座が民間資格に登録されたのをはじめ、多くの活動を精力的に実施しています。その成果は Facebook に掲載して広報活動を行っています。

まだまだ成長の段階ですので、これまで以上に鋭意活動していく所存でございます。今後ともご支援を賜りますようお願いいたします。

平成 27 年 2 月 5 日記

## 目次

<b>第1章</b>	<b>インフラ長寿命化センターの活動概要</b>	
1.1	センターの概要	1
1.2	兼務教職員及びスタッフ	4
1.3	定例会議の開催	5
1.4	平成26年度の活動概要	6
<b>第2章</b>	<b>平成26年度「道守」養成ユニット」実施報告</b>	
2.1	事業目的	9
2.2	地域再生人材創出構想の内容	9
2.3	本事業の執行者	10
2.4	講義・実習担当の構成	11
2.5	受講人数	15
2.6	事業実施内容	17
2.6.1	道守補助員コース	17
2.6.2	道守補コース	24
2.6.3	特定道守コース	46
2.7	道守認定者の活動	69
2.7.1	長崎県内地区ごとの認定者数	69
2.7.2	三者合同防災・トンネル点検・橋梁点検	71
2.7.3	道路の異常通報システム	73
2.7.4	道路の見守り活動	75
2.8	“道守”養成ユニット特別講演会	76
2.9	道しるべの発行	80
2.10	道守パンフレット作成（平成26年10月～）	83
2.11	道守活動優秀者の表彰	84
2.12	道守の民間資格の登録	85
<b>第3章</b>	<b>長崎県の産業を支える人材育成事業（地域を支える人材育成事業）実施報告</b>	
3.1	実施目的と実施体制	95
3.2	実施内容	95
3.3	実施報告	96
<b>第4章</b>	<b>長崎市との連携の覚書締結とインフラ研修等の実施</b>	
4.1	覚書の締結と連携事業	105
4.2	初級・中級インフラ研修	107
4.3	点検・補修に係る助言	111
4.4	自治体とのヒアリング	112

<b>第5章</b>	<b>JICA「ラオス人民民主共和国道路維持管理能力強化プロジェクト」研修</b>	
5.1	概要	117
5.2	プログラムの構成	117
5.3	研修員および講師	118
5.4	まとめ	119
<b>第6章</b>	<b>「成長分野等における中核的専門人材養成等の戦略的推進事業（長崎の地域特性を考慮したインフラ再生技術者育成のためのカリキュラム構築）」実施報告</b>	
6.1	近年カリキュラムの改善	121
6.2	道守カリキュラムの改善と新設の検討	123
6.3	初級・中級インフラ研修のカリキュラムの開発	124
6.4	e-ラーニング教材の開発	125
6.5	成果報告会の開催等	126
<b>第7章</b>	<b>プロジェクト・シンポジウム・展示会等参画報告</b>	
7.1	広島大学オンサイトプロジェクト	129
7.2	市民シンポジウムin長崎2014	131
7.3	ながさき県建設技術フェア	134
<b>第8章</b>	<b>関連研究</b>	
8.1	諫早プロジェクト	137
8.2	軍艦島プロジェクト	142
8.3	国土交通省プロジェクト	149
<b>第9章</b>	<b>広報活動</b>	
9.1	インフラ長寿命化センターのパンフレット	155
9.2	Facebookページの開設	156
9.3	ホームページの開設	157
<b>第10章</b>	<b>外部資金への申請と採択状況</b>	
10.1	科学研究費補助金採択	159
10.2	インフラ長寿命化センター関係の外部資金	160
10.3	その他の外部資金	160
<b>第11章</b>	<b>研究業績</b>	
11.1	研究活動	161
11.2	招待講演	164
11.3	学会賞の受賞	165
11.4	学会役員等	166
11.5	学会、学術講演会の開催	166